

の使用も考える。症状によってはベンゾジアゼピン系の抗不安薬、睡眠薬をある程度の量使用することになるが、過量投与による過鎮静やせん妄に注意をする。いずれにせよ若年者よりも少量より開始し、増量も慎重にするのが望ましい。高齢者の場合、薬剤に不耐性であったり、薬物治療が奏効しない間に身体的に衰弱したり、表出しない激しい希死念慮を抱いている場合がある。この様な時には修正型電気けいれん療法(mECT)を考慮しなければならない。アルツハイマー型認知症が疑われる場合には、donepezilを投与し、2~4週間慎重にその効果を検討する。また、うつ病性仮性認知症の段階でdonepezilを投与し、認知機能に奏効したとするpilot studyが出てきている⁵⁾。

6. 終わりに

初老期・老年期における「物忘れ」「うつ状態」を正確に診断するのは、意外に難しい。うつ病から認知症へのスペクトラムを念頭におき、縦断的に慎重に症状を観察することが求められる。

文 献

- 1) Emery VOB and Oxman TE. Update on the dementia spectrum of depression. Am. J. Psychiatry 149: 305-317, 1992.
- 2) 加田博秀, 笠原洋勇. 気分障害と認知症の疫学. 精神科治療学 20: 881-886, 2005.
- 3) 馬場 元, 新井平伊. うつ病性仮性認知症. 精神科治療学 21: 1075-1082, 2006.
- 4) Kessing LV and Anderson PK. Does the risk of developing dementia increase with the number of episodes in patients with depressive disorder and in patients with bipolar disorder? J. Neurol. Neurosurg. Psychiatry 75: 1662-1666, 2004.
- 5) Pelton GH, Harper OL, Tabert MH et al. Randomized double-blind placebo-controlled donepezil augmentation in antidepressant-treated elderly patients with depression and cognitive impairment: a pilot study. Int. J. Geriatr. Psychiatry (PMID: 18088076), 2007.

お知らせ

— 生命保険「団体扱い」へのお奨め —

◇ 医業経営・福利厚生部 ◇

会員の皆様が加入されている下記生命保険会社(11社)の保険を、当会の『団体扱い契約』にしますと保険料が割引されます(割引料は保険会社にお問い合わせください)。

現在、契約者が会員本人で『個人扱い』にて加入されている契約がございましたら、『団体扱い』に変更されることをお奨めします。手続き方法は、契約されたときの生命保険会社または北海道医師会事務局までご連絡ください。

【団体扱い生命保険会社名】

日本生命、マスマチュアル生命
AIGエジソン生命、第一生命、住友生命
T&Dフィナンシャル生命、明治安田生命
富国生命、朝日生命、三井生命
エイアイジー・スター生命

また、保険料の払込方法は、開業会員は「国保診療報酬」から、勤務医会員は預金口座振替により振替いたします。

【預金口座振替取扱銀行】

北海道銀行 本店、各支店
北洋銀行 本店、各支店

「お問い合わせ先」

北海道医師会『会員課』(011-231-1434)